

天皇陛下を燃やす映像を擁護するマスコミ



高須克弥「大村知事がやったことは恥かしい行為で、そういうことをする知事は支持できない。CBCと中日新聞が全てと思ってる愛知の人は目を覚まして。天皇陛下の写真に火をつけ踏みにじったり・英霊を辱めるものを芸術作品として税金を使うのは許せない」
#大村知事のリコールを支持します



午後5:16 · 2020年6月2日 · Twitter Web App



共同「天皇を燃やし踏む映像は侮辱なのか!」
百田尚樹「その通り」
メーテレ「作者の意図もある!芸術!」
百「多くの日本人が日本侮辱と受取った」
有本香「最初から“公金でメディアが流せない作品や政治的偏向作ばかり展示を問題視”と強調してもこういう質問が...」

日本のマスコミは話にならない



記者は“天皇陛下を燃やし踏みつける映像の展示を県民に隠し税金で実施した”ことを問題視するどころか『作者に侮辱の意図がない』『これも芸術』と必死に擁護。そして会見翌日は産経以外の新聞（朝日・毎日・読売・日経・東京）は紙面では全く報じず。マスコミは天皇陛下を燃やし踏みつける映像が税金で展示されたこと隠蔽するな

一面新聞

令和2年
6月5日(金)

発行者
D A P P I



第134号



報道回想録

虎ノ門ニュース（2020年6月26日 DHCテレビ） 拭対協問題が騒がれてる今こそ日本の汚名を払拭すべき



6月3日に放送された虎ノ門ニュースでジャーナリストの大高美貴氏が「挺対協は日韓合意後の16～19年の4.2憶集めたが慰安婦に使われた金は殆どなかった。それに反発した元慰安婦と主張してる李容洙達が怒って問題となった。このことにより、慰安婦問題は政治利用した反日組織で金儲けツールだったと証明された」と韓国国内で問題視されてる尹美香の慰安婦支援団体の不正疑惑に言及した。
そして大高氏は「信憑性に欠ける慰安婦証言で日本はここ数十年間貶められ続けている。来年の学び舎の教科書には慰安婦の記述がまた載るが、事実と違うのだから文科省は放置すべきじゃない。日本が着せられた汚名を払拭すべき」と訴え、経済評論家の上念司も「慰安婦捏造の朝日新聞が韓国国内で慰安婦の真実が出たことを大体的に報じないのはおかしい」と韓国国内で慰安婦神話が崩れた今こそ日本の汚名を払拭するチャンスと訴えた。

また翌日の虎ノ門ニュースでは朝鮮半島問題に詳しい竜谷大教授の李相哲氏が「挺対協は韓国政界に蔓延っており、元長官・大統領府・各種公共団体の理事長に挺対協出身者がいる。韓国左派が尹美香を庇うのは自分達の不正義が暴かれたくないから」と韓国政府が尹美香を庇う理由を暴露した。

注目のインターネット情報

国民の声を代弁する有村議員



有村治子「圧倒的な資金・生産能力・市場規模・先端機微技術を抑えれば世界秩序や国際世論もほしいままに出来ると中国に思わせてはいけない。コロナ禍でも尖閣侵入し、漁船追尾の暴挙の中国は友好か？習近平を国賓として呼ぶのは再検討すべき！」

完全同意。
中国の暴挙を許してはいけない
#kokkai



2020年5月25日（参議院 財政金融委員会）